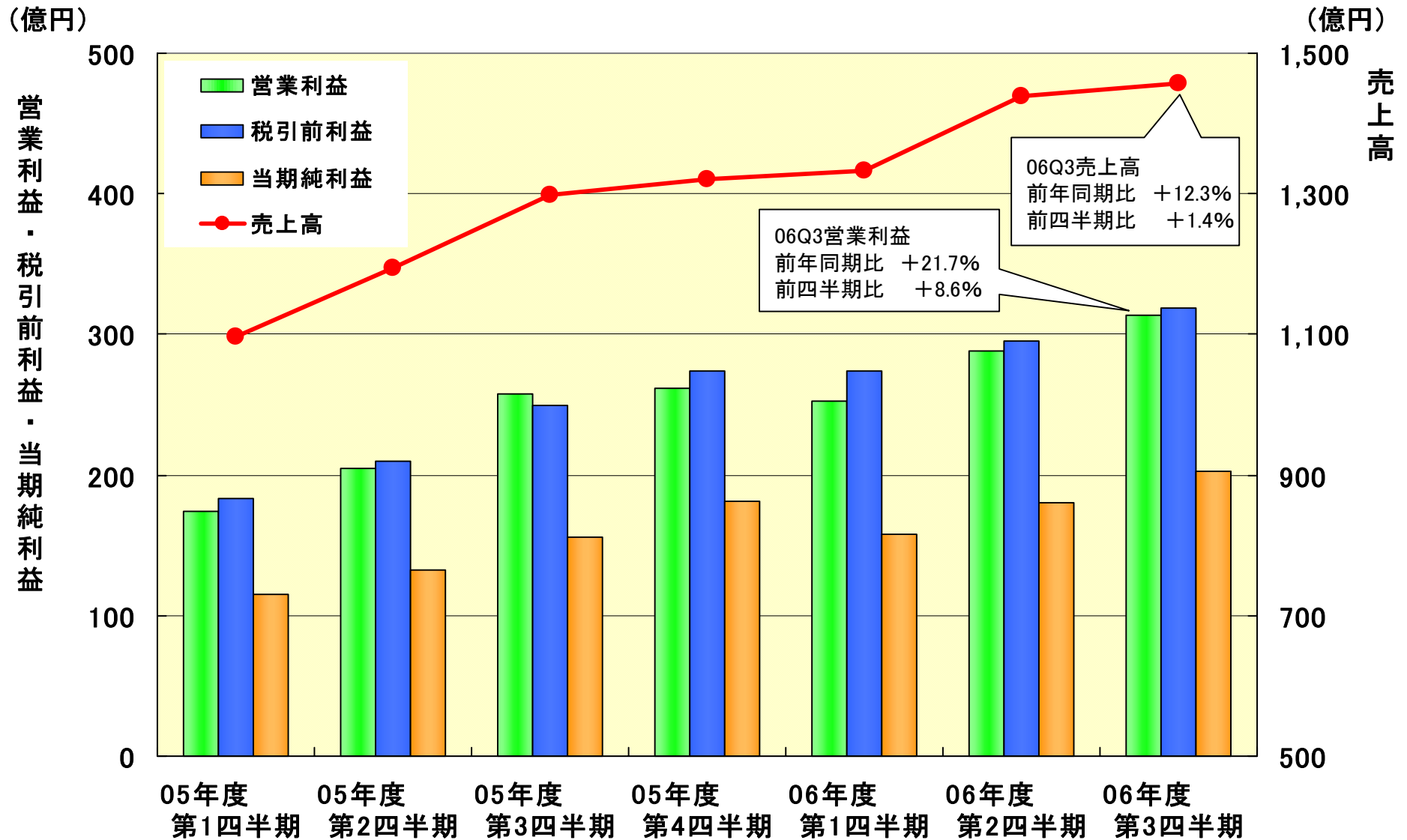


2007年3月期 第3四半期 決算説明会

株式会社 村田製作所

2007年1月31日

業績概況

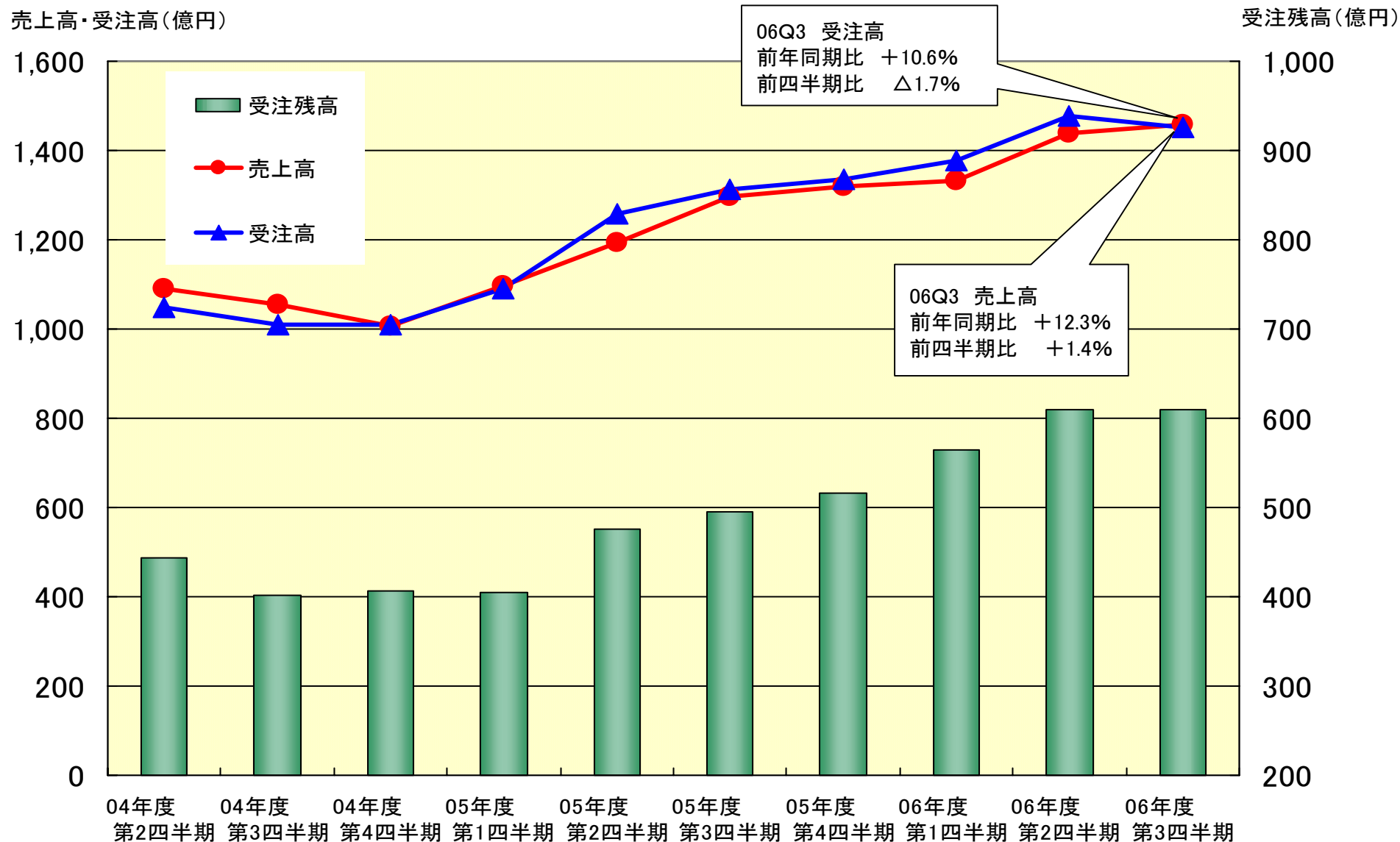


四半期の売上・受注・注残推移



売上高・受注高(億円)

受注残高(億円)



携帯電話

第3世代機の普及進展

中国、インドなどの新興地域における需要の拡大

PC及び関連機器

ノートPCが好調、MPUのデュアルコア化が進展

デジタルAV機器

液晶やPDPなどの薄型テレビの生産台数増加

新型ゲーム機の発売開始

カーエレクトロニクス

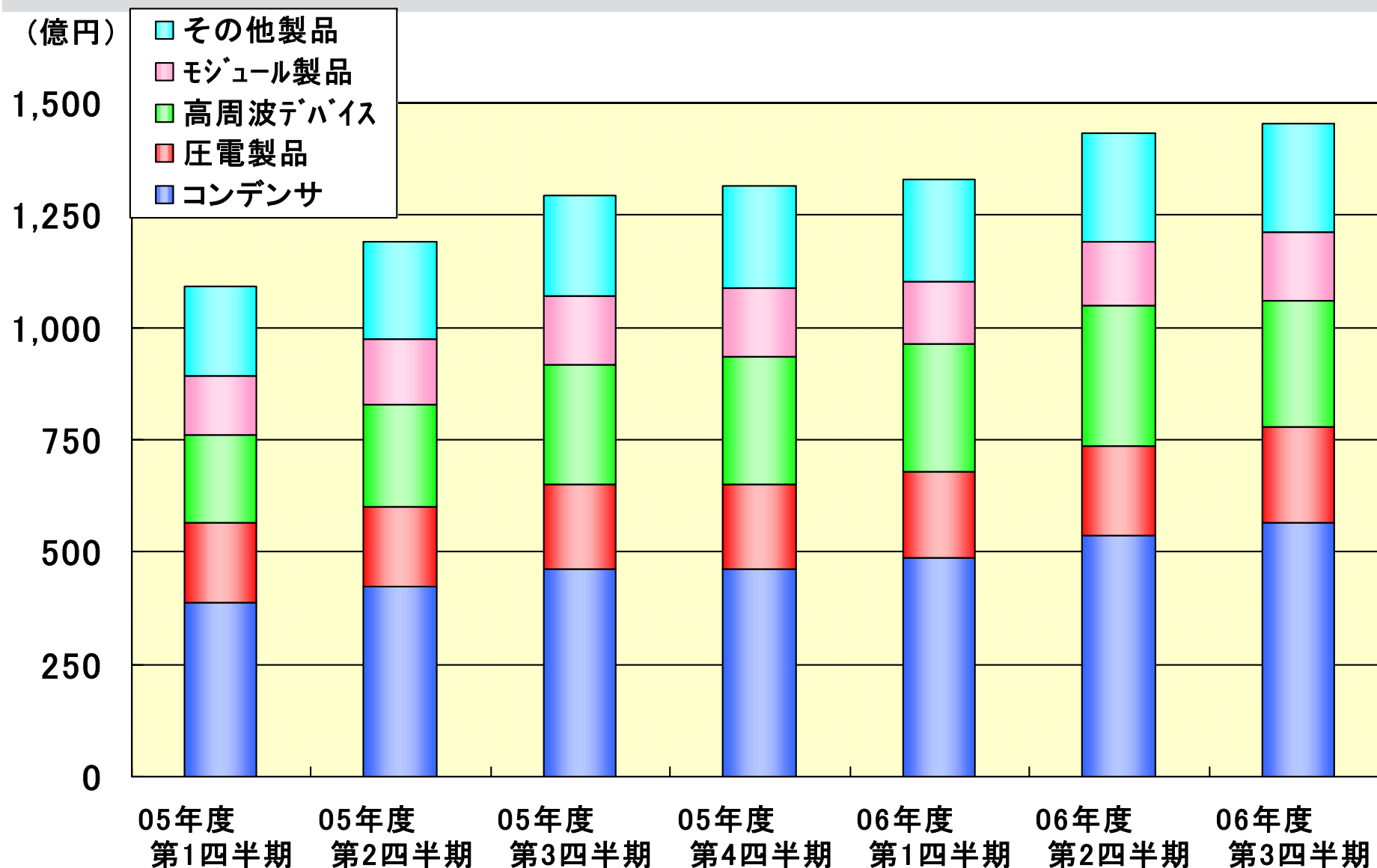
カーナビの搭載率向上、安全装置などの電装化の進展

製品別売上高



	2005年度 第3四半期		2006年度 第3四半期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	461	35.7	565	38.9	+104	+22.5
圧電製品	190	14.6	212	14.6	+22	+11.8
高周波デバイス	265	20.5	281	19.3	+16	+6.1
モジュール製品	154	11.9	152	10.5	△ 2	△ 1.1
その他製品	224	17.3	242	16.7	+18	+8.2
製品売上高計	1,294	100.0	1,453	100.0	+159	+12.3

製品別売上高



1) コンデンサ (565億円、前年同期比+22.5%)

チップ積層セラミックコンデンサ

- ・大容量コンデンサが、AV機器向けや通信機器、PC及び関連機器向けなど、すべての用途で大幅に伸長
- ・0603サイズなどの小型コンデンサは、通信機器向けを中心に大幅に伸長
- ・低ESLコンデンサは、MPU向けで大幅に伸長

2) 圧電製品（212億円、前年同期比+11.8%）

表面波フィルタ

通信機器向けに大幅に伸長

圧電センサ

HDD向けに減少したが、
カーエレクトロニクス向けに伸長

セラミック発振子

AV機器向けやPC及び関連機器向けに減少

セラミックフィルタ

AV機器や通信機器向けに減少

3) 高周波デバイス (281億円、前年同期比+6.1%)

Bluetooth[®] モジュール

携帯電話向けで堅調

多層デバイス、誘電体フィルタ

通信機器向けで減少

アイソレータ、コネクタ

通信機器向けで大きく伸長

(注) Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標です

4) モジュール製品（152億円、前年同期比△1.1%）

電源

薄型テレビなどのAV機器向けや、
PC及び関連機器向けで大きく伸長

回路モジュール

- ・地上デジタルチューナが増加
- ・VCO（電圧制御発振器）が通信機器向けで大幅に減少
- ・通信機器用モジュールは大幅に減少

5) その他製品 (242億円、前年同期比+8.2%)

EMI除去フィルタ

AV機器向けで大きく伸長したが、
PC及び関連機器向けで減少

チップコイル

通信機器向けなどで大きく伸長

ジャイロスター[®]

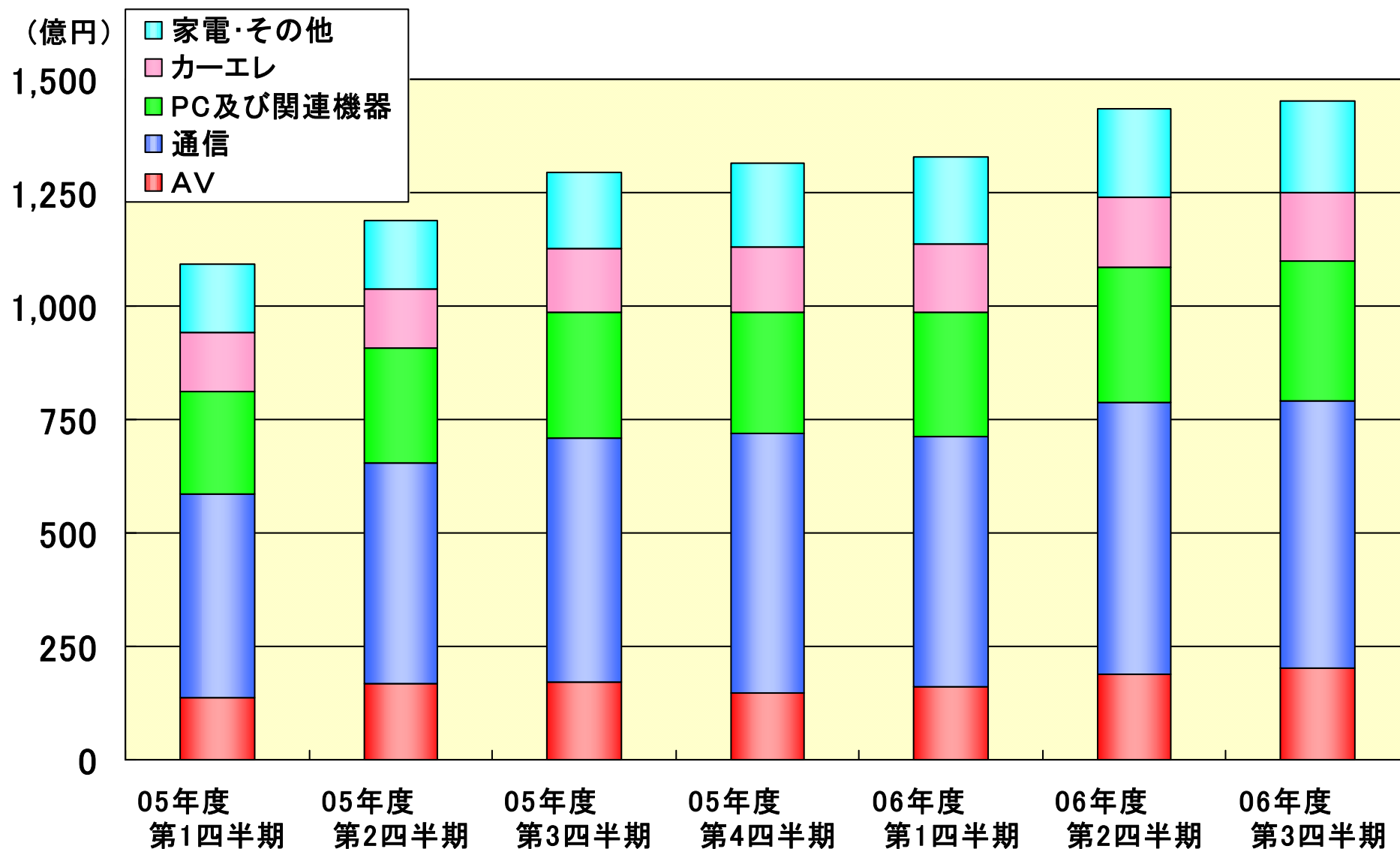
DSC、ゲーム機向けで大きく伸長

用途別売上高



	2005年度 第3四半期		2006年度 第3四半期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	171	13.2	201	13.8	+30	+17.5
通信	538	41.6	591	40.7	+53	+9.8
PC及び関連機器	277	21.4	306	21.1	+29	+10.4
カーエレ	139	10.8	153	10.5	+14	+10.1
家電・その他	168	13.0	202	13.9	+34	+20.1
製品売上高計	1,294	100.0	1,453	100.0	+159	+12.3

用途別売上高



1) AV機器 (201億円、前年同期比 +17.5%)

液晶/ PDPテレビ向け

大容量コンデンサ、EMI除去フィルタ、電源が大きく伸長

DSC向け

ジャイロスター[®] が伸長

ゲーム機器向け

ジャイロスター[®] の搭載、EMI除去フィルタの伸長

携帯型音楽プレーヤー向け

コンデンサ、EMI除去フィルタが大きく伸長

2) 通信 (591億円、前年同期比+9.8%)

携帯電話向け

- ・第3世代機向けの需要が拡大
表面波フィルタ、コンデンサ、アイソレータ、
地上デジタルチューナが大きく伸長
- ・中国、インドなど新興地域における需要の増加

その他通信

無線LAN向けなどで伸長

3) PC及び関連機器(306億円、前年同期比+10.4%)

PC向け

- ・MPU向けで低ESLコンデンサ、大容量コンデンサが大幅に伸長
- ・ノートPC向けで大容量コンデンサが伸長

関連機器向け

- ・プリンタ向けで電源が大幅に伸長
- ・HDD向けは横ばい

4) カーエレクトロニクス(153億円、前年同期比+10.1%)

- ・カーナビ向けに大容量コンデンサ、Bluetooth[®]モジュールが増加
- ・電装化の進展に伴い、RKE(リモートキーレスエントリー)、エアバック向けが増加

5) 家電・その他(202億円、前年同期比+20.1%)

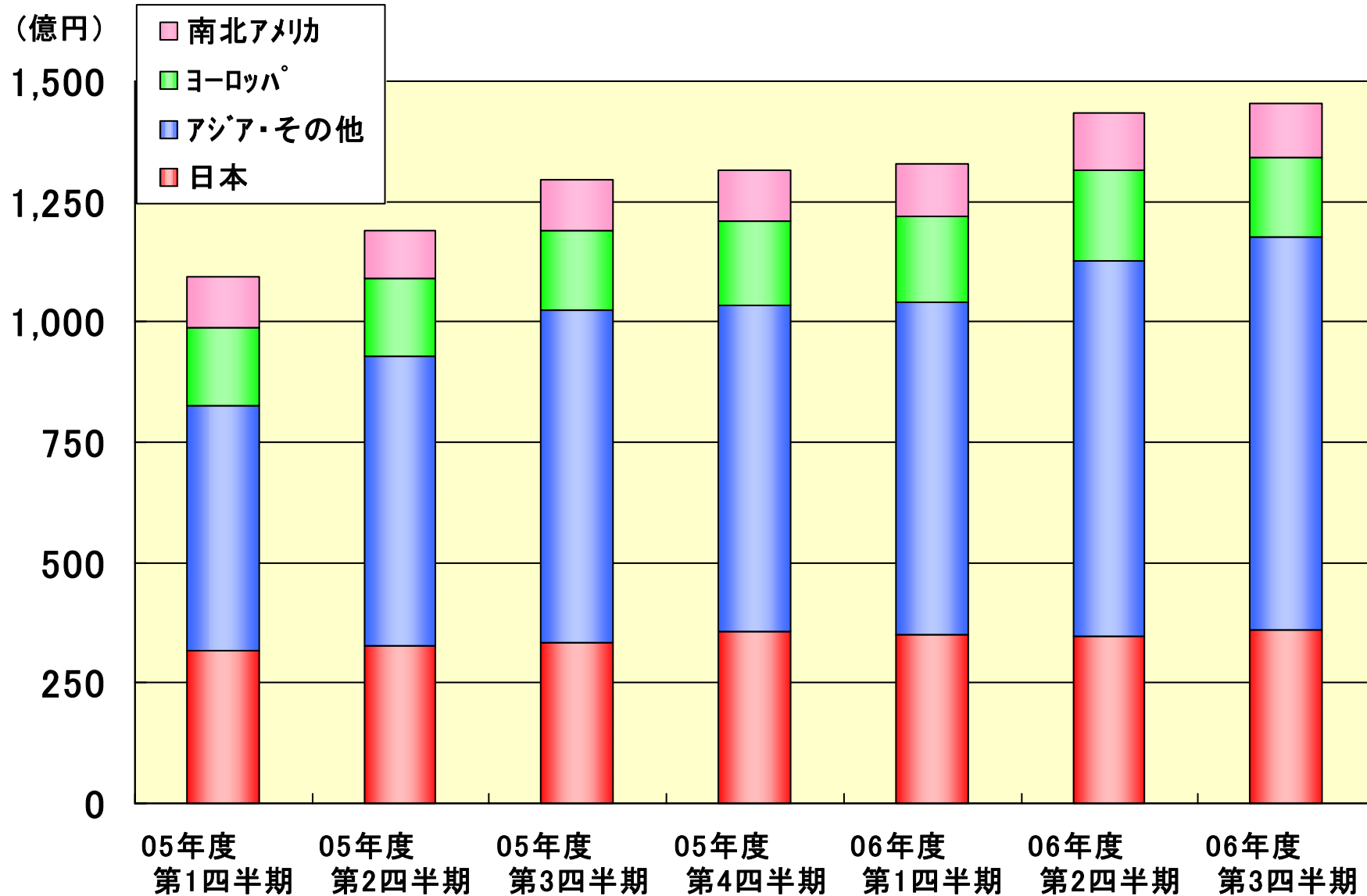
ディストリビュータ向けが増加

地域別売上高



	2005年度 第3四半期		2006年度 第3四半期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
南北アメリカ	104	8.0	112	7.7	+8	+7.6
ヨーロッパ	166	12.8	165	11.4	△ 1	△ 0.7
アジア・その他	691	53.4	816	56.1	+125	+18.1
日本	333	25.8	361	24.8	+28	+8.3
製品売上高計	1,294	100.0	1,453	100.0	+159	+12.3

地域別売上高



業績概況



	2005年度 第3四半期		2006年度 第3四半期		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	1,298	100.0	1,458	100.0	+160	+12.3
売上総利益	520	40.0	609	41.7	+89	+17.0
営業利益	258	19.8	314	21.5	+56	+21.7
税引前利益	249	19.2	319	21.9	+69	+27.8
当期純利益	156	12.0	203	13.9	+47	+30.1

【利益増減要因】

(プラス要因)

- ・売上の増加、生産能力拡大による操業度益
- ・生産性改善、コストダウン

(マイナス要因)

- ・減価償却費、販売費及び一般管理費、研究開発費の増加
- ・製品価格の値下がり
- ・貴金属価格(パラジウム・銀)の上昇

業績予想



	2005年度通期 実績		2006年度通期 予想 (06年10月公表) (従来より変更なし)		増減	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,908	100.0	5,650	100.0	+742	+15.1
営業利益	898	18.3	1,110	19.6	+212	+23.6
税引前利益	917	18.7	1,160	20.5	+243	+26.5
当期純利益	584	11.9	700	12.4	+116	+19.8

12月から1月にかけての受注は、通常の季節変動の範囲内で緩やかに減少。

現時点では季節変動要因による調整を超えるレベルでの大きな調整が発生する兆しは感じていない。

2月は現状の受注水準が続くが、3月より春先需要が立ち上がり、受注は拡大していくものとみている。

製品別売上予想



【製品別売上高 前期比増減率実績・予想】

	2005年度 実績	2006年度 従来予想 (06年10月公表)	2006年度 今回予想
コンデンサ	+11.6%	+20%程度	+25%程度
圧電製品	+3.8%	+10%程度	+10%程度
高周波デバイス	+48.0%	+25%程度	+18%程度
モジュール製品	+8.3%	横這い	横這い
その他製品	+12.1%	+5%程度	+5%程度
計	+15.6%	+15.1%	+15.1%

用途別売上予想



【用途別売上高 前期比増減率実績・予想】

	2005年度 実績	2006年度 従来予想 (06年10月公表)	2006年度 今回予想
AV	+12.7%	+10%程度	+15%程度
通信 計 (内携帯電話)	+21.5% (+31.0%)	+20%程度 (+28%)	+15%程度 (+25%程度)
PC及び関連機器	+17.0%	+13%	+15%程度
カーエレクトロニクス	+6.5%	+10%程度	+10%程度
家電その他	+7.7%	+10%程度	+10%程度
計	+15.6%	+15.1%	+15.1%

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1) 当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2) 原材料等の価格変動及び供給不足、(3) 為替レートの変動、(4) 変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5) 当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6) 各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7) 偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。